

シカジーニアス® RNAプレップキット (種子&果実用)

実験を行う前に…

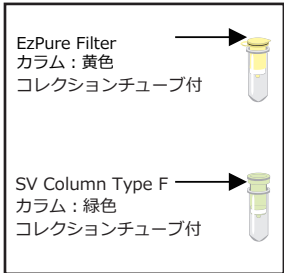
- ・初回使用時に規定量のエタノールを③Buffer RBW と④Buffer RNW に加えて下さい。
- ②Buffer ML に沈殿が生じた場合には 56℃でインキュベートし、沈殿をよく溶かしてからご使用下さい。
- ・初回使用時に規定量の⑤Nuclease-free waterを⑦DNase Iに加えて下さい。添加後のDNase I溶液は-20℃で保存して下さい。

サンプルの準備：組織サンプル(最大100 mgまで)に液体窒素を加え、乳棒と乳鉢を用いて粉末状になるまで素早くすり潰します。

- ※1 DNase I 希釈液の準備：手順 8)の直前に、70μLの⑥Buffer DRB に氷上で融解した 2μLの DNase I 溶液を加え、ピペティングでゆっくりと撹拌して下さい。作製した DNase I 希釈液は使用するまで氷上で保管して下さい。

操作方法

カラム・フィルターの名称と外観

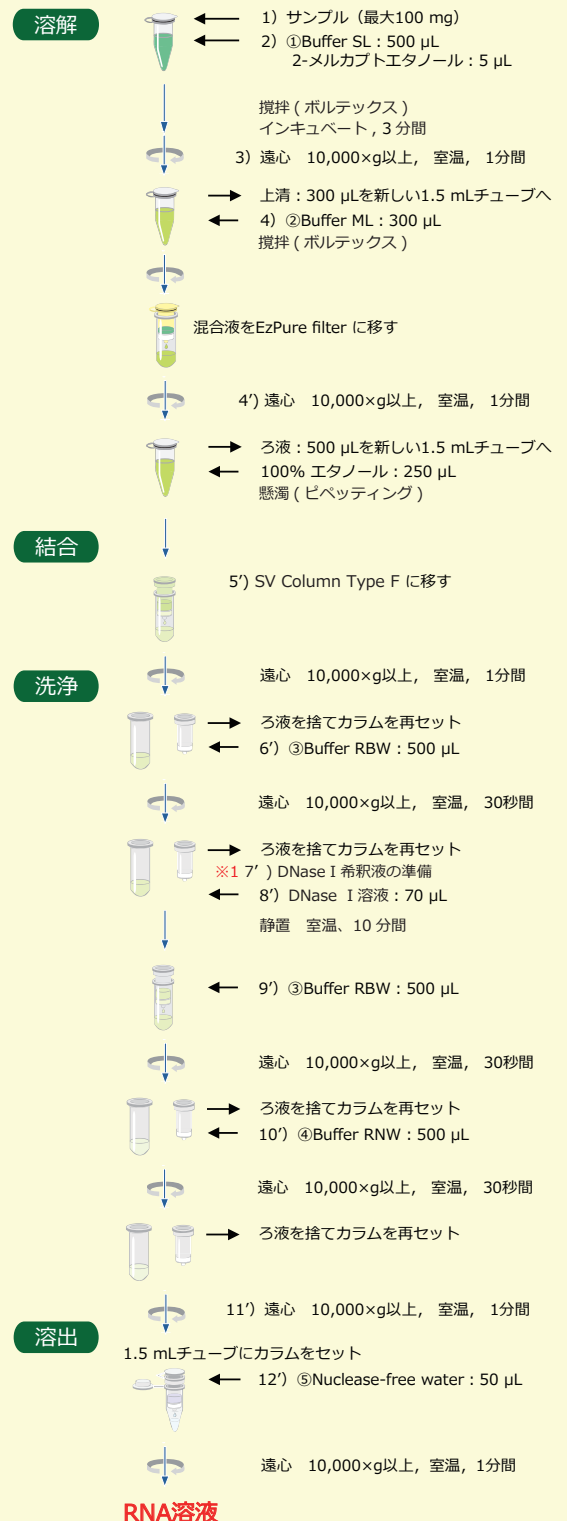


【通常サンプル (種子・果実等)】



*溶出したRNA溶液は-70℃以下にて保存して下さい。

【でんぷん質を多く含むサンプル (根茎・穀物等)】



*溶出したRNA溶液は-70℃以下にて保存して下さい。